

サッカーを楽しむための体育科カリキュラムの開発

発表者 国富町立八代小学校 桐山 雄介
 司会・進行 延岡市東海小学校 片桐 康裕

発 言 者	内 容
加納小 中地先生	クラスの苦手な子が、どのくらい改善したのか？ 言葉かけを変えるために、どのような工夫をしたのか？（他の教科との関連は？）
桐山先生	ボールを変えた。蹴る力が違うと、怖さも出てくる。ボールを軽くしてあたって痛くないようにした。課題ゲームによってゾーンが制限される。パスがつかない。よって、パスの出す場所やタイミングを子どもたちが考えるようになった。 制限のゾーンは、二人は入れるようにして、一人がおとりになるような動きを導いた。 言葉かけは単元の最初に約束をした。
南方小 田爪先生	経験者が独りよがりなプレーをすることがある。経験者への配慮はしたのか？
桐山先生	課題ゲームで、一人ではボールを運べないようなものにした。パスからのシュートの方が、点数が高くなるなど。
北川小 酒井先生	子どもがスペースを見る意識を高める指導法は？
桐山先生	ボール慣れの中で、サッカー鬼ごっこをした。全体の中で2、3人だけボールを持っていない児童がいて、ボールを奪うというゲーム。その中で、視野を広げる工夫をした。
生目台西小 黒木先生	総合的な学習の時間の検証。体育と両立したときにどのような成果が出たのか？
片桐先生	学校でのワールドカップをしようという実践をした。ただ、学校のカリキュラム上難しい面もある。

<p>小戸小 岩下先生</p>	<p>総合の学習と体育の学習の関連をもう少し教えてほしい</p>
<p>桐山先生</p>	<p>学校ごとに総合のカリキュラムが組まれており、実際に実践ができていない。体育の中では、技能等を学ぶ。総合では、学年ごとに課題になるだろう事例を学べるようにした。例えば、勝ち負けについてとかを考える実践等。</p>
<p>宮内先生</p>	<p>課題ゲームとタスクゲームを同じととらえている？ 同じということか？</p> <p>はい</p>
<p>大宮小 緒方先生</p>	<p>基礎的な練習をしたのか、ゲームを中心にしたのか？</p>
<p>桐山先生</p>	<p>各時間の最初にボール慣れの時間をとっている。ドリルではなく、サッカー鬼ごっこなどみんなで楽しめるものも入れた。</p>
<p>生目小 有嶋先生</p>	<p>ハーフコートサッカーをしたことがある。そのほかの課題ゲームを教えてほしい。</p>
<p>桐山先生</p>	<p>最初はボール操作ができないため、ボール保持者が不利。ゆえに、攻撃側が多くなるような課題ゲームを取り入れた。</p>